

**BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO  
TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG**

---



ISO 9001:2015

# **KHÓA LUẬN TỐT NGHIỆP**

**NGÀNH: NGÔN NGỮ ANH – NHẬT**

**Sinh viên : Đinh Thị Mỹ Linh  
Giảng viên hướng dẫn: ThS. Phạm Thị Huyền**

**HẢI PHÒNG - 2019**

教育訓練省  
ハイフォン経営・技術大学

ハイフォン私立大学における  
初級の助詞の学習方法に関する研究

## 卒業論文

専門：英語－日本語

学生 : デイン・ティ・ミー・リン  
指導教官 : ファム・ティ・フエン, M.A

ハイフォン - 2019

**BỘ GIÁO DỤC VÀ ĐÀO TẠO**  
**TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUẢN LÝ VÀ CÔNG NGHỆ HẢI PHÒNG**  
-----

## **NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP**

Sinh viên: Đinh Thị Mỹ Linh Mã SV: 1512753005

Lớp: NA1901N Ngành: Ngôn ngữ Anh – Nhật

Tên đề tài: ハイフォン私立大学における初級の助詞の学習方法に  
関する研究

# NHIỆM VỤ ĐỀ TÀI

1. Nội dung và các yêu cầu cần giải quyết trong nhiệm vụ đề tài tốt nghiệp (về lý luận, thực tiễn, các số liệu cần tính toán và các bản vẽ).

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. Các số liệu cần thiết để thiết kế, tính toán.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. Địa điểm thực tập tốt nghiệp.

.....

.....

.....

## CÁN BỘ HƯỚNG DẪN ĐỀ TÀI TỐT NGHIỆP

### Người hướng dẫn thứ nhất:

Họ và tên: Phạm Thị Huyền

Học hàm, học vị: Thạc sĩ

Cơ quan công tác: Khoa Ngoại ngữ, Đại học Quản lý và Công nghệ Hải Phòng (Tên cũ: Đại học Dân lập Hải Phòng)

Nội dung hướng dẫn: ハイフォン私立大学における初級の助詞の学習方法に関する研究

### Người hướng dẫn thứ hai:

Họ và tên:.....

Học hàm, học vị:.....

Cơ quan công tác:.....

Nội dung hướng dẫn:.....

Đề tài tốt nghiệp được giao ngày ... tháng ..... năm .....

Yêu cầu phải hoàn thành xong trước ngày .... tháng ..... năm .....

Đã nhận nhiệm vụ ĐTTN

*Sinh viên*

Đã giao nhiệm vụ ĐTTN

*Người hướng dẫn*

*Hải Phòng, ngày ..... tháng.....năm 20....*

**Hiệu trưởng**

**GS.TS.NGŨT Trần Hữu Nghị**

**CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM**  
**Độc lập - Tự do - Hạnh phúc**

**PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIẢNG VIÊN HƯỚNG DẪN TỐT NGHIỆP**

Họ và tên giảng viên: .....

Đơn vị công tác: .....

Họ và tên sinh viên: ..... Chuyên ngành:.....

Nội dung hướng dẫn: .....

.....

**1. Tinh thần thái độ của sinh viên trong quá trình làm đề tài tốt nghiệp**

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

**2. Đánh giá chất lượng của đề án/khóa luận (so với nội dung yêu cầu đã đề ra trong nhiệm vụ Đ.T. T.N trên các mặt lý luận, thực tiễn, tính toán số liệu...)**

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

**3. Ý kiến của giảng viên hướng dẫn tốt nghiệp**

Được bảo vệ  Không được bảo vệ  Điểm hướng dẫn

*Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm .....*

**Giảng viên hướng dẫn**

*(Ký và ghi rõ họ tên)*

**CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM**  
**Độc lập - Tự do - Hạnh phúc**

**PHIẾU NHẬN XÉT CỦA GIÁO VIÊN CHĂM PHẢN BIỆN**

Họ và tên giảng viên: .....

Đơn vị công tác: .....

Họ và tên sinh viên: ..... Chuyên ngành: .....

Đề tài tốt nghiệp: .....

.....

.....

**1. Phần nhận xét của giáo viên chăm phản biện**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**2. Những mặt còn hạn chế**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**3. Ý kiến của giảng viênchăm phản biện**

Được bảo vệ  Không được bảo vệ  Điểm hướng dẫn

*Hải Phòng, ngày ... tháng ... năm .....*

**Giảng viên chăm phản biện**

*(Ký và ghi rõ họ tên)*

# 目次

目次.....	1
謝辞.....	4
第 1 部： 序論.....	1
1. 研究の背景.....	1
2. 研究の理由.....	1
3. 研究の目的.....	3
4. 研究の範囲及び方法.....	3
5. 研究の構成.....	4
第 2 部： 内容.....	5
I】 助詞について.....	5
1.1. 助詞とは.....	5
1.2. 助詞の分類.....	6
1.3. 初級助詞のまとめ.....	7
II】 HPU における初級の助詞の教授及び学法について.....	13
2.1. HPU の日本語教員スタッフ.....	13
2.2. 学生.....	13
2.3. HPU における日本語教育及び学習の現状.....	14
2.4. HPU 学生の助詞学習現状.....	15
III】 調査アンケート.....	18
3.1. アンケートの参加者及および目的.....	18
3.2. データ分析.....	18

3.3. 結果と討論.....	28
IV】 提案 .....	29
4.1. 提案.....	29
4.1.1. 助詞の使い方を覚える.....	29
4.1.2. 使い方が間違い助詞を使い分ける。 .....	35
4.1.3. 文を作って、先生に見てもらう ・ 練習問題をする。 .....	38
第3部： 結論.....	40
参考文献.....	41
付録1.....	i
付録2.....	iii

## チャートと表のリスト

チャート 1 : 正しく答えた学生の割合.....	16
チャート 2 : 日本語を始めた動機.....	17
チャート 3 : 学生が達成したいレベル.....	19
チャート 4 : 学生と助詞の重要性.....	23
チャート 5 : 助詞の難しさについて.....	24
チャート 6 : 助詞学習に対する興味.....	25
表 1 : 『みんなの日本語』の助詞まとめ.....	7
表 2 : 同じ形の助詞.....	11
表 3 : 助詞テストの結果.....	15
表 4 : よく間違えた助詞.....	17
表 5 : 助詞学習を改善するため.....	273

## 謝辞

卒業論文を完成するにあたって、先生、先輩、友人、後輩または家族、多くの方々のご指導、ご援助及びご協力を頂いたことを感謝の気持ちとともにここに記したいと思います。

私は 2015 年 8 月から、ハイフォン私立大学（2019 年 5 月から「ハイフォン経営・技術大学」となりました）の外国語学部で学び、ファム・ティ・フエン (Phạm Thị Huyền) 先生のご指導の下で日本語を学習してきました。先生には厳しくご指導いただいたことを通して、私自身の成長を実感することができました。フエン先生のような素晴らしい指導教官の下で、本論文が完成できたことを大変幸せに思っております。

フエン先生にはご多忙の中、貴重なお時間を割いて頂き、また丁寧なご指導とご教示を頂いたことを感謝いたしました。論文を完成させるまでにはうまくいくというわけではなく、誤りの繰り返しで、精神的なストレスもございました。その度、やさしく励ましてくださった恩師のフエン先生に対して心より深くお礼申し上げます。また、資料や参考書を貸して頂き、先生に研究面だけではなく、進路に関する相談や就職についてのご指導など、フエン先生には大変お世話になりました。フエン先生には重ねて心より感謝の意とお礼を申し上げます。

また、先輩、友人、後輩にはご貴重なご意見、ご協力を頂き、感謝いたしました。

最後に、これまで自分が信じた道を進むことに対し、暖かく見守り、支援してくれた両親に対しても深く感謝いたしました。

ハイフォン、2019 年 6 月

学生

ディン・ティ・ミー・リン

# 第1部：序論

## 1. 研究の背景

近年、日本とベトナムの友好関係は戦略的パートナーシップとして深化し、それとともに、日本でベトナム人の技能実習生や介護福祉士候補者などの受入れが開始され、ベトナムに進出する日系企業の数も大幅に増加している。その背景にはベトナム人の日本語を学ぶニーズが大きく、日本語教育が盛んな時期を迎えている。

ベトナムでは、様々な大学で日本語学科や日本語教育師範などが開設された。ハイフォンでは、日本語は数年前から、いくつかの小学校、中学校、高校で教えられた。

特に、2015年にハイフォン私立大学（2019年5月から、「ハイフォン経営・技術大学」という名前となった。これから、本論で大学の名前を「HPU」に置き換える）の外国語学部で初めて英語－日本語学科が開かれた。しかし、日本語は小学校から学習した英語とまったく違う外国語なので、学生達は、日本語を学習しているうちに、色々な困難を抱えた。

例えば、日本語の文字体系では英語のようにローマ字ではなく、主に漢字、ひらがなとカタカナが用いられていて、ベトナムのようなアルファベットを使っている国の人にとっては大きな支障である。さらに、文法も多いし、間違えやすいし、大変だ。

## 2. 研究の理由

日本語では名詞、動詞、形容詞などの種類は英語より習得しやすい。基本的な文法が分かれば、それらを簡単に識別し、使用することができる。しかし、それは助詞に当てはまらない。

日本語の助詞はベトナム語、または英語とまったく違う。次の例を見てください。

例 1 : 「私はりんごを食べる。」

日本語 : 私 は りんご を 食べる。  
主語 ↓ 対象 ↓ 動作  
助詞 助詞

英語 : I eat apple  
主語 対象 動作

ベトナム : Tôi ăn táo  
主語 対象 動作

英語をベトナム語では、文中の文節は直接につながっているに対して、日本語では、文節と文節の間に助詞がある。

助詞は文から離れて、一人で立ったら、意味がなくなるので、名詞や動詞などのように意味を覚えることはできない。

ベトナム人の日本語学者は母国語の影響を受けており、小学校の頃から英語を学んだ習慣ができたため、助詞を習得するのは最も困難な問題になっていると言っていた。

日本人は会話で時々助詞を使わないで話すが、助詞がなければ、文の意味が分からない場合が多い。または、助詞を間違ったら、文の意味が変わる場合も多い。

次の例を見てください。

例 2 : A ( ) B ( ) 食べる。

例えば、次の例では、( ) の中に何を入れたらいいか。

答えはたくさんある。

「A と B が食べる」 なら、「A」「B」は並立する。

「A が B を食べる」 なら、「A」は主語で、「B」は動作の対象である。

または、「A を B が食べる」なら、「A」は動作の対象で、「B」は主語である。

助詞が変わるだけで、読み手の受け止め方が全く変わってくる。例 1 及び例 2 を通して、助詞は日本語の文において、言葉と言葉をつなぎ、微妙な意味を肉付けする重要な役割を果たすことが分かってきた。

助詞に関する問題はよくテストや試験に出されるが、HPU の学生はまだ助詞の重要性も理解していないし、適当な学習方法も分からないし、それで点数や成績はあまりよくない。

現実には、初級者だけではなく、中級者も助詞が苦手で、中級車の書いた作文にも助詞の間違いがよく見られる。

それに、助詞が分からなくて、試験の読み物で筆者が伝えたいことを誤解してしまうので、読解の問題に失敗することが多い。そのため、多くの学生は日本語能力試験 N3 に不合格となり、卒業資格が取れない。私はこの状況を改善したいと思う。

上記は私が本研究をすることに決めた理由である。

### 3. 研究の目的

本研究の目的は：

- 助詞の定義及び分類をまとめること。
- HPU の日本語の初級学習者がどうやって助詞を学習しているか、どんな誤りをよく犯すか調べること。
- 学者から意見を求め、効果的な学習方法を提案すること。

### 4. 研究の範囲及び方法

日本語の助詞の知識は非常に広いので、本研究はすべて分析することができない。本研究では、教科書として利用されている『みんなの日本語』（初級 I 本冊及び初級 II 本冊）の助詞まとめに載せてある助詞に限られている。

本研究のために、以下の方法を実行する。

- 資料、参考書やウェブサイトを参考して、助詞とはどういうものであるか、どのように分類されているか分かりやすくまとめる。
- 教科書として利用されている『みんなの日本語』初級 I 本冊及び初級 II 本冊に出た助詞をまとめて、分析する。
- 初級助詞学習の現状を調べるために、テスト及びアンケートを実施して、データを分析する。
- 助詞学習を改善するための提案を出す。

## 5. 研究の構成

本研究は3つの部分で構成されている。

— **第1部**：序論は研究の背景、理由、目的、研究の範囲及び方法、構成が含まれている。

— **第2部**：内容は3つの章に分かれている。

・ **I】** 助詞について述べている。助詞の定義及、分類を提出する。そして、初級教科書の助詞をまとめて、分析する。

・ **II】** 一般的に、HPUにおける日本語を学ぶ環境、特に、初級助詞学習の現状を調べる。

・ **III】** HPUの1年生及び2年生に対する調査アンケートである。この章では、調査結果について分析する。

・ **IV】** 助詞学習を改善するための提案を出す。

— **第3部**：結論ではすべての問題をまとめた結論、本研究の制限及び今後の研究のための提案を述べる。

## 第2部： 内容

### I] 助詞について

#### 1.1. 助詞とは

助詞の定義について、益岡隆志、田窪行則 共著（2013）は『基礎日本語文法』 において次のように述べている。

「名詞に接続して補足語や主題を作る働きをするもの、語と語、節と節を接続する働きをするもの、等を一括して「助詞」という。」

『基礎日本語文法』, pp.49

他に、林義雄、林史典、金子守 編（2002）は『現代標準国語辞典』 において次のように定義している。

じょし【助詞】： 文法で、品詞の一つ。いつも他のことばのあとについて、ことばとことばの関係をしめしたり、さまざまな意味をつけ加えたりするもの。「が」「を」「に」「の」「て」「ので」「は」「も」「ね」「よ」など。付属語の一つで、活用はない。

『現代標準国語辞典』, pp.499

または、金田一春彦（2003）は『現代新国語辞典』 において助詞について次のように述べている。

助詞： 付属語で活用がなく、常に他の語について一文節を構成し、他の成分に対して、どのような関係にあるかを示したり、いろいろの意味を添えたりするときに用いる単語をいう。日本語が名詞の使われ方から膠着語に属すると言われるもの、この助詞が非常に発達し、文法上の重要な機能を発揮しているからである。

『現代新国語辞典』, pp.1435

まとめ：助詞とは活用のない付属語で、名詞に接続して補足語や主題を作る働きをしたり、語と語、節と節を接続する働きをしたりするというものである。

## 1.2. 助詞の分類

助詞の分類については昔から学説により異なる。

山田文法では、句のなかで果す機能を中心に、格助詞、副助詞、係助詞、終助詞、間投助詞、接続助詞に分かれる。

(ウィキペディア)

橋本文法では、切れ続き、接続関係などをもとに、副助詞、準体助詞、接続助詞、並立助詞、準副体助詞、格助詞、準副助詞、係助詞、終助詞、間投助詞に分類される。

(ウィキペディア)

または、時枝の助詞の分類は山田や橋本とは大きく異なり、「話し手がどのような立場の表現であるかといふことが、表現を有機的に理解し、文の構造を明らかにする上で大切ことである『日本文法口語編』(1950)と意味に重点を置き、助詞を格を表わす助詞、限定を表わす助詞、接続を表わす助詞、感動を表わす助詞の4つに分類している。

他に、林義雄、林史典、金子守 編(2002)は『現代標準国語辞典』において次のように述べている。

ふつう助詞は、格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞の四つに分類される。助詞をさらに細かく分けて、これ以外に、並立助詞・準体助詞をもうける考えもある。

文法： 同じ形をしていても、助詞の種類がちがうものがある。たとえば、「花がさく。」(格助詞)と「雨がふり始めたが、試合を続けた。」(接続助詞)など。

『現代標準国語辞典』, pp.499

または、金田一春彦(2003)は『現代新国語辞典』において助詞の分類方法について次のように述べている。

助詞の分類方法には種々のものが行われているが、本書では次の八種類に細分した。(学校文法では、ふつう格助詞、接続助詞、副助詞、終助詞の四つに分ける。これにならえば、本書の八種類のもののうち、

準体助詞は格助詞に、並立助詞は格助詞や副助詞または接続助詞に、係助詞は副助詞に、間投助詞は終助詞に含めることになる)。

『現代新国語辞典』, pp.1435

まとめ： 助詞は、働きによって、ふつう格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞の四つの種類に分ける。

① 格助詞： 体言（準体言を含む）について、それが述語あるいは他の格を伴う成分とどいう資格で、関係するかを示す。

② 接続助詞： 活用する語（用言や助動詞）について、前の文節とあとの文節をいろいろな意味関係でつなぐ。

③ 副助詞： 種々の語につく。副詞に似た働きを持ち、後に来るかかっていたり、ある意味を添えたりする働きをする。

④ 終助詞： 種々の語について、常に文の終わりに位置し、話し手の疑問・禁止・命令・感動・勧誘・依頼などの気持ちを示す。

### 1.3. 初級助詞のまとめ

前述したように、本研究では、HPU で教科書として使用されている『みんなの日本語』初級 I 本冊及び初級 II 本冊を利用して、文法授業で初級学者がどんな助詞を学ぶか調べる。それから、教科書からそれぞれの助詞を使った例文を引いて、「2.2. 助詞の分類」のまとめに基づいて、どの種類に属するか分析する。

分析結果は「表 1：『みんなの日本語』の助詞まとめ」に載せる。

表 1：『みんなの日本語』の助詞まとめ

	助詞	例文	第～課	分類
1.	が	わたしはイタリア料理が好きです。 わたしは子供が2人います。 わたしはのどが痛いです。	9 11 17	格 助 詞

2.	の	あの人はIMCの <u>ミラー</u> さんです。 それはわたしの <u>かさ</u> です。 わたしが日本へ来た <u>の</u> は去年の3月です。	1 2 38
3.	を	わたしはジュース <u>を</u> 飲みます。 1週間旅行 <u>を</u> します。 毎朝、公園 <u>を</u> 散歩します。	6 11 13
4.	に	わたしは朝6時 <u>に</u> 起きます。 わたしはサントスさん <u>に</u> おみやげをもらいました。 京都へ花見 <u>に</u> 行きます。 子ども <u>の</u> とき、よく母 <u>に</u> しかられました。	4 7 13 37
5.	へ	友達と京都 <u>へ</u> 行きます。(= <u>に</u> ) あの信号を右 <u>へ</u> 曲がってください。	5 14
6.	と	休みは土曜日 <u>と</u> 日曜日です。 わたしは家族 <u>と</u> 日本へ来ました。 首相は来月アメリカへ行く <u>と</u> 言いました。	4 5 21
7.	より	北海道は九州 <u>より</u> 大きいです。 東京はニューヨーク <u>より</u> 人が多いですか。	12 12
8.	から	銀行 <u>から</u> お金を借りました。 チリソースは下 <u>から</u> 2段目です。 ビールは麦 <u>から</u> 造られます。	7 10 37
9.	まで	きのう10時 <u>まで</u> 働きました。 駅 <u>まで</u> 迎えにいきましょうか。	4 14
10.	までに	土曜日 <u>までに</u> 本を返さなければなりません。	17

11.	で	駅で新聞を買います。 ファクスで資料を送ります。 わたしは一年で春が一番好きです。	6 7 12	
12.	や	箱の中に古い手紙や写真 [など] があります。	10	
13.	とか	毎日ダンスとか、水泳とかしています。	36	
14.	ば	春になれば、桜が咲きます。 部長に相談しなければ、決められません。	35 35	
15.	と	このボタンを押すと、お釣りが出ます。 このつまみを右へ回すと、大きくなります。	23 23	
16.	ても (でも)	雨が降っても、出かけます。 いくら安くても、わたしはグループ旅行が嫌いです。	25 25	
17.	が	「七人の侍」は古いですが、とてもおもしろい映画です。 さくら大学は大きい大学ではありませんが、いい大学です。 ひらがなは書けますが、漢字は書けません。	8 8 27	接続助詞
18.	ながら	音楽を聞きながら食事します。 彼は働きながら大学で勉強したいです。	28 28	
19.	のに	約束をしたのに、彼女は来ませんでした。 このビデオカメラ、先週買ったばかりなのに、もう動かないんです。	45 46	
20.	ので	体の調子が悪いので、病院へ行きます。 用事があるので、お先に失礼します。	39 39	

21.	から	きょうは子どものたんじょうびですから、早く帰ります。	9	副 助 詞
		きょうは疲れました <u>から</u> 、何もしたくないです。	13	
22.	し	地下鉄は速い <u>し</u> 、安い <u>し</u> 、地下鉄で行きましょう。	28	
		ワット先生は熱心だ <u>し</u> 、まじめだ <u>し</u> 、それに経験もあります。	28	
23.	て (で)	ニュースを聞いて <u>て</u> 、びっくりしました。	39	
		地震 <u>で</u> 、ビルが倒れました。	39	
		笑いすぎて、涙が出たんです。	44	
24.	は	わたしは <u>は</u> マイク・ミラーです。	1	
		日曜日 <u>は</u> 友達とならへ行きました。	6	
25.	も	マリアさん <u>も</u> ブラジル人です。	1	
		ビデオをしゅうりするのに 3 しゅうかん <u>も</u> かかかりました。	42	
26.	でも	ちょっとビール <u>でも</u> 飲みませんか。	21	
27.	こそ	こちら <u>こそ</u> よろしく。	2	
28.	しか	わたしの会社は 1 週間 <u>しか</u> 休めません。 (打ち消しの語を伴う)	27	
29.	か	会議はいつ終わる <u>か</u> 分かりません。	40	
30.	だけ	田中さんはどのくらいスペイン語を勉強しましたか。	11	
		...3ヶ月勉強しました。 えっ、3ヶ月 <u>だけ</u> ですか。上手ですね。		
31.	くらい (ぐら い)	わたしは国で 1 ねん <u>ぐら</u> い日本語を勉強しました。	11	
		パワー電気では夏休みは 3 しゅうかん <u>ぐ</u>	27	

		らい取れます。 グプタさんは 30 分ぐ <u>らい</u> でもどると言っ ていました。	33	
32.	か	サントスさんはブラジル人ですか。 明日どこへ行きますか。	1 5	終 助 詞
33.	な	触る <u>な</u> 。 まだ 1 分ある。あきらめる <u>な</u> 。ファイ ト！	33 33	
34.	よ	この電車は甲子園へ行きますか。 ...いいえ、次の「普通」ですよ。	5	
35.	ね	昨日も 12 時まで勉強しました。 ...大変です <u>ね</u> 。 えーと、871 の 6813 です。 ...871 の 6813 です <u>ね</u> 。	4 4	

まとめ：

初級レベルでは、学生達は格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞の四つの助詞種類を学ぶ。

「表 1：『みんなの日本語』の助詞まとめ」に三十五の異なった助詞が出た。その中で、格助詞が十三、接続助詞が十、副助詞が八つ、終助詞が四つある。

同じ形をしていても、助詞の分類がちがうものがある。

そそれを次の「表 2：同じ形の助詞」にまとめる。

表 2：同じ形の助詞

	助詞	分類 1	分類 2
1.	が	格助詞	接続助詞
2.	と	格助詞	接続助詞

3.	から	格助詞	接続助詞
4.	か	副助詞	終助詞

## II] HPU における初級の助詞の教授及び学法について

私の考えでは、教えることは、先生と学生の間での相互依存に関係がある。また、教授と学習の環境も非常に重要である。これらすべてが講義の成功を支配する要因である。

### 2.1. HPU の日本語教員スタッフ

HPU の日本語教員スタッフは全員熱心で豊富な経験を持っている。彼らは日本語教育に興味を持っており、常に人間の発達のための教育の重要性を明確に理解している。それゆえに、いつも最も効果的な講義を学生に伝えるために最善を尽くす。日本語教育に関する様々なトレーニングコースや会議や交流会などに参加して、新しい知識を磨いたり、新たな指導法を学んだりして、学生達に教えている。

しかし、講師不足は大きな問題である。日本語の講師が 4 人で、そのうちに、常勤は 1 人、非常勤は 3 人（1 人が日本人）である。

標準的に、一人の講師が平均として年間 270 コマ～350 コマ（一コマ 50 分）教えるが、実際に標準の二、三倍教えなければならない講師もいる。

実際、担当時間数が標準を大きく上回り、非常に大変なうえに、学生がどんな問題で困っているのか適時に気がつかないのは避けがたい。それに、講師は一人一人のニーズを感心したり、理解したりするのは難しい。

### 2.2. 学生

日本語の授業に、クラスの学生は大体 15-18 人である。私が考えている限りでは、それは合理的な数量である。

しかし、入学したばかりの学生たちの中で、色々な問題が起きている。彼らが高校を卒業したばかりで、異なる場所から来て、異なる学習環境を経験したという事実に言及しなくてはならない。

また、いくつかの学生が学習に積極的ではない。他人に下手だと考えられて、皮肉されるのを恐れるので、分からなくても、先生や先輩に聞こうとしない。したがって、勉強すれば勉強するほど、分からなくなり。勉強がいやになる。それは最も難しい問題である。

### 2.3. HPUにおける日本語教育及び学習の現状

HPUでは、授業のために、各教室にプロジェクターやラジオが装備してある。講師は講義をもっと面白くて効果的にするために、学生に教えながら、簡単な歌を聞かせたり、絵を見せたりする。それで、学生たちは日本語にもっと興味がある。

また、日本文化が深く理解できるように、課外活動がたくさん行われている。日本語クラブが開かれて、日本語が分かる人も分からない人も参加することができる。その上、毎年、外国語学部も他の部署と連帯し、学生達が勉強しながら楽しく遊ぶことができる祭りを開く。「日本文化週間」とか「カルチャーキャンプ」とか「文化交流会」とか。

日本人の交換留学生も歓迎する。おかげで、学生は日本人と学んだ日本語で話したり、新しい言葉や表現を学んだり、文化を交流したりする機会がたくさんある。

HPUは日本語の勉強に便利な環境を作っている。

しかし、頑張っても、短い間で起きている問題を解決して、完璧にすることはできない。

それらの問題の一つは助詞の教授及び学習の問題である。

現実に、授業時間が足りないため、講師は助詞がそれぞれどんなとき、使われるか、どのように使い分けるか詳しく説明できない。もし説明しても、習得できる学生が少ない。

講師は学生に例文や文型の中に出て来た助詞を動詞と共に覚えさせる。または、ドリルの中で置き換え練習をすることによって使い方を理解させる。

このようなバラバラに教える方法では、学生自身は助詞について全体的に分かりにくいし、助詞の使用に不安があるときも自分自身で正誤を確認することが困難だ。

その結果、多くの場合は、練習のときには正しく使えても、実際のスピーチや作文では、学習者が自信を持って、うまく使えなかったり、助詞を誤用したりすることが少なくない。

#### 2.4. HPU 学生の助詞学習現状

HPU 学生の助詞学習現状を調べるために、テストを作った。

テストはドリルの問題で、質問が 20 ある。

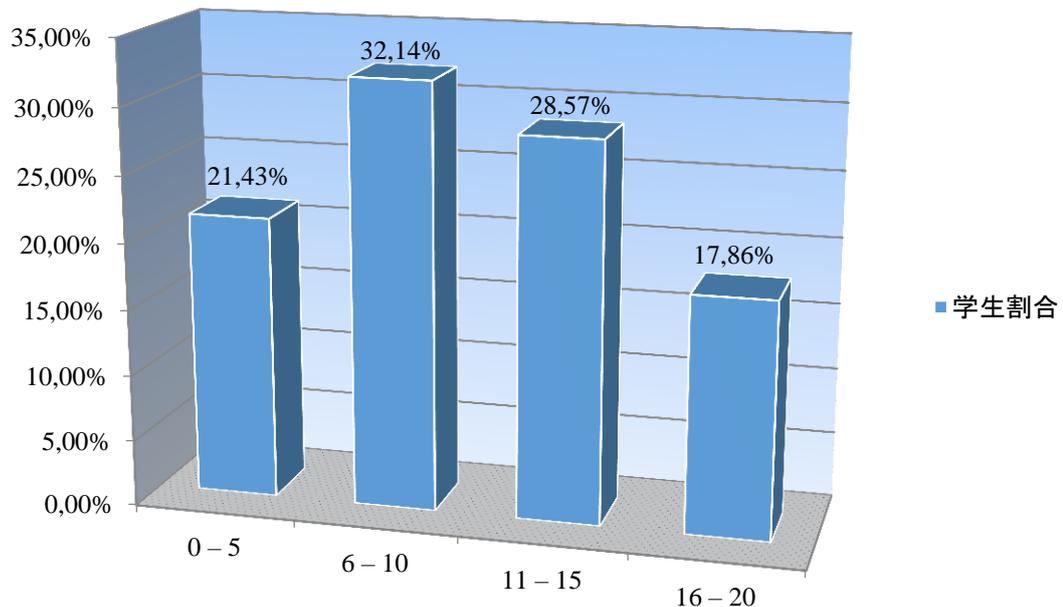
表 3 には、正解数と正しく答えた学生の数載せてある。

表 3：助詞テストの結果

正解数	0 - 5	6 - 10	11 - 15	16 - 20
学生数 / 28 (人)	6	9	8	5

「表 3：助詞テストの正解数」に基づいて、正しく答えた学生の割合をチャート 1 で示す。

チャート 1：正しく答えた学生の割合



このチャートから学生の答えには助詞の誤りが多くて、学生達が助詞について深く理解していないと分かる。

6-10 の質問に正しく答えた学生が一番多い（約 32%）、16-20 の正解の学生の 1.8 倍ぐらいで、次は 11-15 の正解を持つ学生（約 29%）。

0-5 つの正解を持つ学生も少なくない（約 22%）。

一般的に、5/10 点が取れなければ、テストや試験に落ちる。もしこれは試験だったら、50%以上の学生が失敗になったということだ。

16-20 の正解の学生割合は約 18%で、一番低い。18%の学生がけ 8 点以上が取れたということだ。

学生の助詞習得力が弱いと言える。

テストの後、もう一つのことを発見した。学生達は同じ誤りを犯したことだ。次の表 4 によく間違えた助詞をまとめる。

表 4：よく間違えた助詞

間違えた答え	間違えた答え
あした <u>までに</u> レポートを出してください。	あした <u>まで</u> レポートを出してください。
ミラーさんはアメリカ人です。去年の3月にアメリカ <u>から</u> 来ました。	ミラーさんはアメリカ人です。去年の3月にアメリカ <u>へ</u> 来ました。
去年アメリカ <u>へ</u> 行きました。	去年 <u>に</u> アメリカへ行きました。
あの信号を右へ曲がってください。	あの信号 <u>で</u> 右へ曲がってください。
お酒は米 <u>から</u> つくられます。	お酒は米 <u>で</u> つくられます。
日本へ経済 <u>の</u> 勉強に来ました。	日本へ経済 <u>を</u> 勉強に来ました。
ここに <u>に</u> 座ってください。	ここ <u>で</u> 座ってください。
サッカーとやきゅう <u>と</u> どちらがおもしろいですか。	サッカーとやきゅう <u>は</u> どちらがおもしろいですか。

### III】 調査アンケート

#### 3.1. アンケートの参加者及および目的

参加者は HPU の英語－日本語学科の一年生（クラス NA2201N、13 人）及び二年生（クラス NA2101N、15 人）である。彼らは初級の助詞を学んだばかりだ。

また、言及したようで、助詞は非常に重要な役割を果たすと考えられる。したがって、最初からうまくいかなければ、後の手順はもっと複雑になる。

その上、1 年生は厳しい入学試験を受けたばかりなので、まだ遊びたい気持ちが強いし、実家から遠く住まなければならない学生は家族からの応援や心配りが足りないし、また生活のために、アルバイトをしながら大学に通っている学生もいる。学習の意識はまだ貧弱だ。勉強で助詞などの難しい問題を見捨てる傾向がある。

それで、適時な激励や提案が必要だ。このように、学生は助詞の重要性を理解し、正しい方法で学習することができるようになる。

この調査アンケートは本研究に非常に重要な部分である。HPU の日本語学習者の学習能力に関するデータと情報を提出する。調査アンケートは次の 3 つの主な目的のために設計されている。

- ① 一般的に日本語、特に助詞を学ぶことに対する学生の態度及び期待が分かること。
- ② 助詞を学ぶとき、学生が直面した問題を調べること。
- ③ 問題を解決するために、最善の提案を出すこと。

#### 3.2. データ分析

調査票には六つの質問（日本語）が含まれており、1 から 6 までの番号が付けられている。質問には三つ、四つ、または五つの選択肢がある。学生は複数の選択肢を選択できる。質問票は 2 つのセクションに分かれている。

最初のセクション（質問 1 から 5 まで）では、日本語の学習に対する学生の関心また、助詞の重要性についてどう思うか調べる。

2 番目のセクション（質問 6）では、個人的な経験、ネットワークの参照、先輩、そして先生に聞くことによって、助詞学習の方法に関する提案をまとめる。学習者がそれらのテクニックにどれくらい賛成するか、他の助詞を学習するための良いテクニックを学習者に尋ねる。

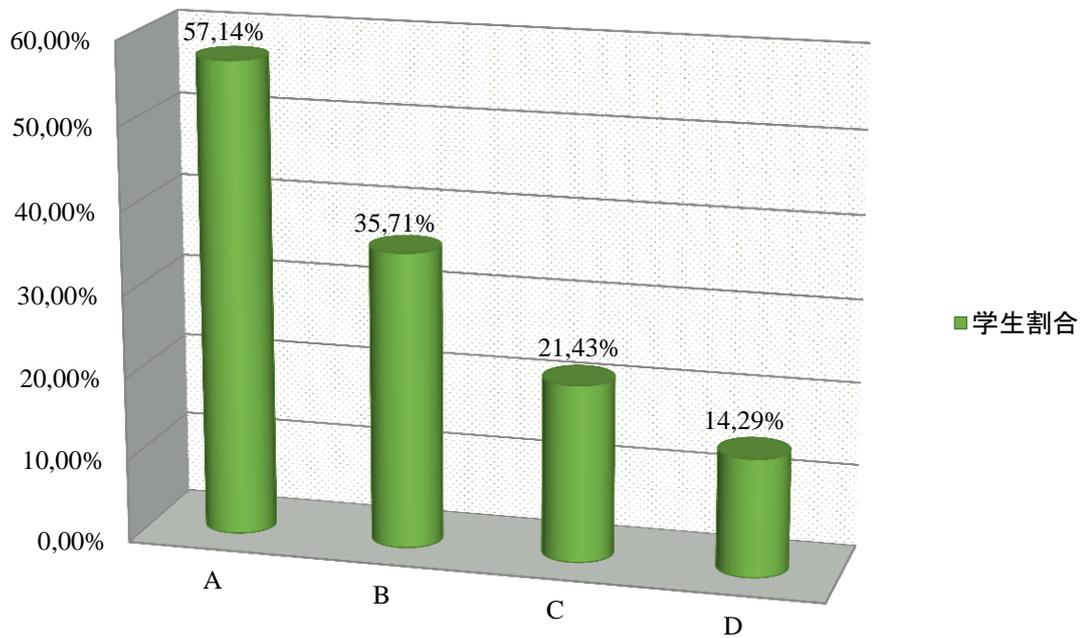
この調査から、日本語の助詞を学ぶ適切な方法を見つけることができる。この調査は私の研究の基礎となっている。

調査が実施された後、統計は合計され、以下の六つの図表を通して示された。それぞれの図表は、それぞれの質問で最も適した答えを選んだ学生の数を示している。この数はパーセント単位で数えられ、チャートの種類は棒グラフである。データはチャートで簡単に見ることができる。そして、チャートの下側に説明がある。

## セクション 1： 学生の日本語学習への関心

問 1. 日本語の勉強を始めたのはなぜか。

チャート 2：日本語を始めた動機



- A. 就職のため。
- B. (日本語 ・ 日本文化 ・ 日本料理...) 好きだから。
- C. 日本に行きたいから。
- D. 他の意見。

上のチャートは、学生が日本語を専門として選んだ動機を示している。チャートから、一番多いのは A を選んだ人で、B を選んだ人の 1.5 倍で、C を選んだ人の 2.5 倍で、D を選んだ人の 4 倍である。合計が 100% 以上なので、複数の回答を選択した人がいると分かる。

多数の学生がよい仕事に就職するために、日本語を勉強し始めた。さらに、日本語 ・ 日本文化などが好きだから、あるいは日本に行き

たいから、日本語を勉強した学生も多い。この結果は驚くべきことではない。このチャートは日本語が彼らにとってどれほど重要であるか、学習したい気があるかどうか証明する。

そのほかに、面白い理由がある。例えば、「彼氏・彼女は日本人だから、日本語を勉強した」とか、「日本人と友達になりたいので、勉強した」とか、「英語の他にもう1つの外国語を知りたい」とか...

ところが、「両親に勉強させられた」という理由もある。または、なぜ日本語を選んだか分からないという答えもある。目的や興味を持っていなければ、勉強を続けるのは難しい。

## 問2. どのレベルまで勉強するつもりか。

チャート3：学生が達成したいレベル

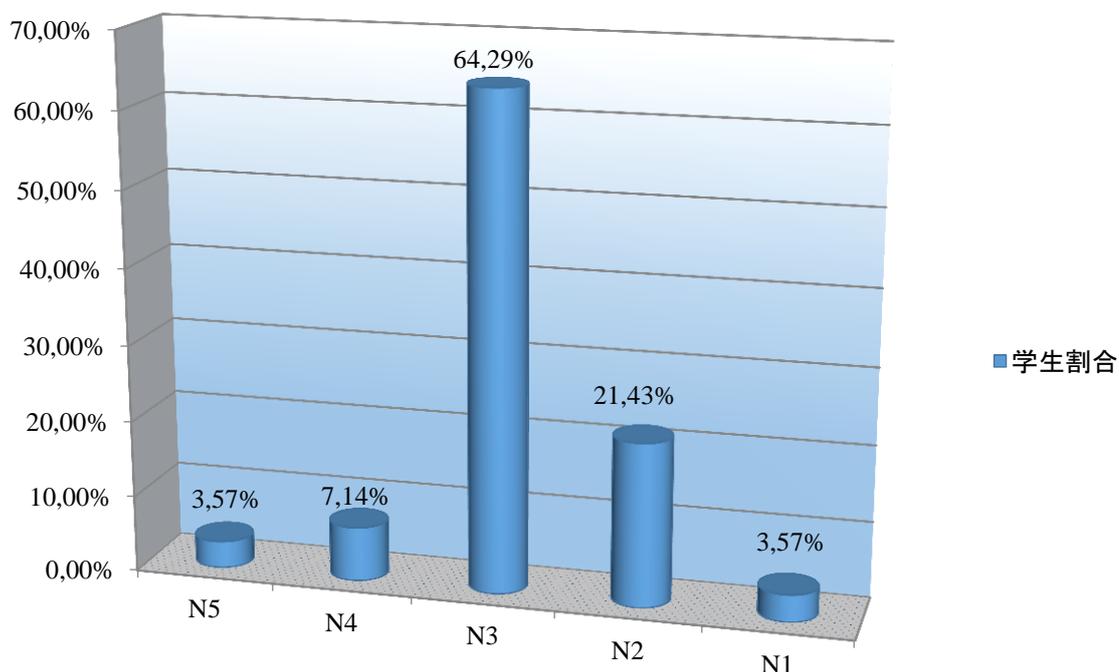


チャート3は、学生がどのレベルに達成したいかを示している。

チャートから、一番多いのは N3 レベルに達したい人（64%ぐらい）である。N3 レベルの日本語能力認定書は英語－日本語学科の卒業条件である。その上、今では、多くの日本企業が N3 以上の認定書を持っている人を採用している。N3 の認定書を持っていれば、手当がもらえることもある。それで、この結果は分かりやすい。

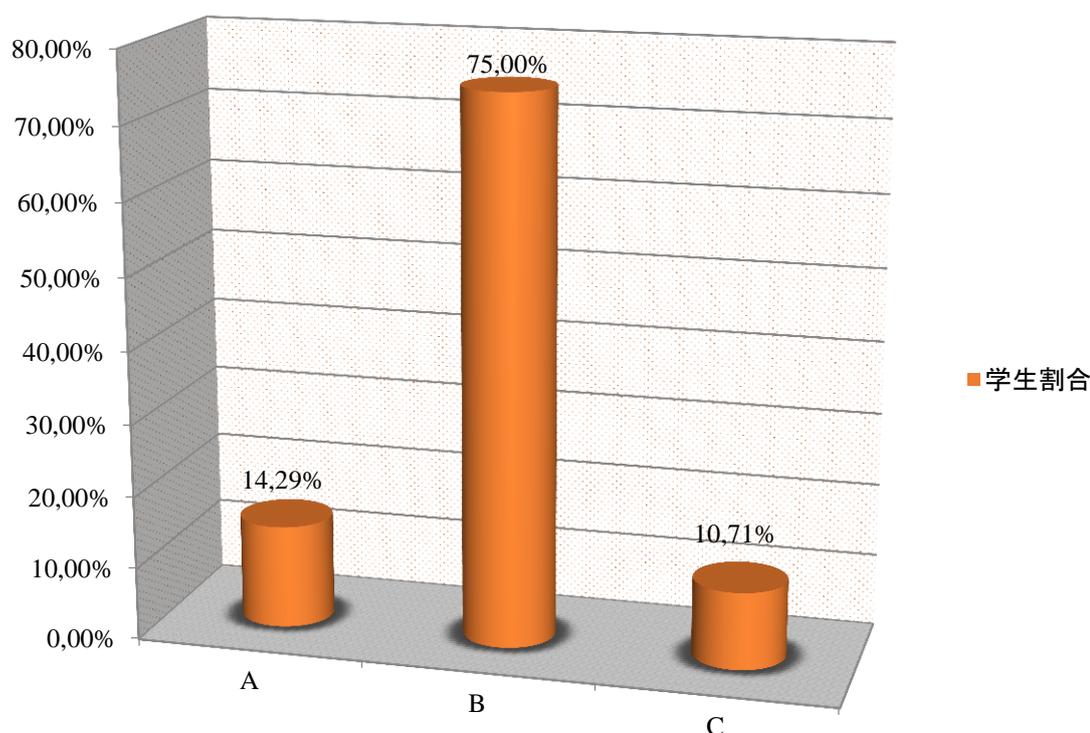
二番目は N2 レベルに達成したい人（21%ぐらい）である。HPU のカリキュラムによると、英語－日本語学科の学生は N3 のレベルまで学習する。N2 を習いたい人は外の先生を見つけるか、自分で学ぶ。それは HPU に意志を持っていて、進歩を望んでいる学生が少なくないと証明する。

N1 レベルに到達したい学生は 3%だけだけど、とにかく、これは良いことだ。

N5 か N4 まで勉強したい人もいる。合計で約 11%だ。卒業条件は N3 の日本語能力認定書だと上述したけど、N3 の認定書の代わりに、TOEIC か IELTS の証明書でもいいから、N5 か N4 か認定書を持っていてもいい。しかし、目標を低く設定したら、努力する動機がなくなってしまう。そのグループの数は多くないと言えるが、アンケートのデータから、彼らが日本語の勉強にあまり情熱がないと分かる。

問 3. 日本語では助詞が重要だと思うか。

チャート 4：学生と助詞の重要性



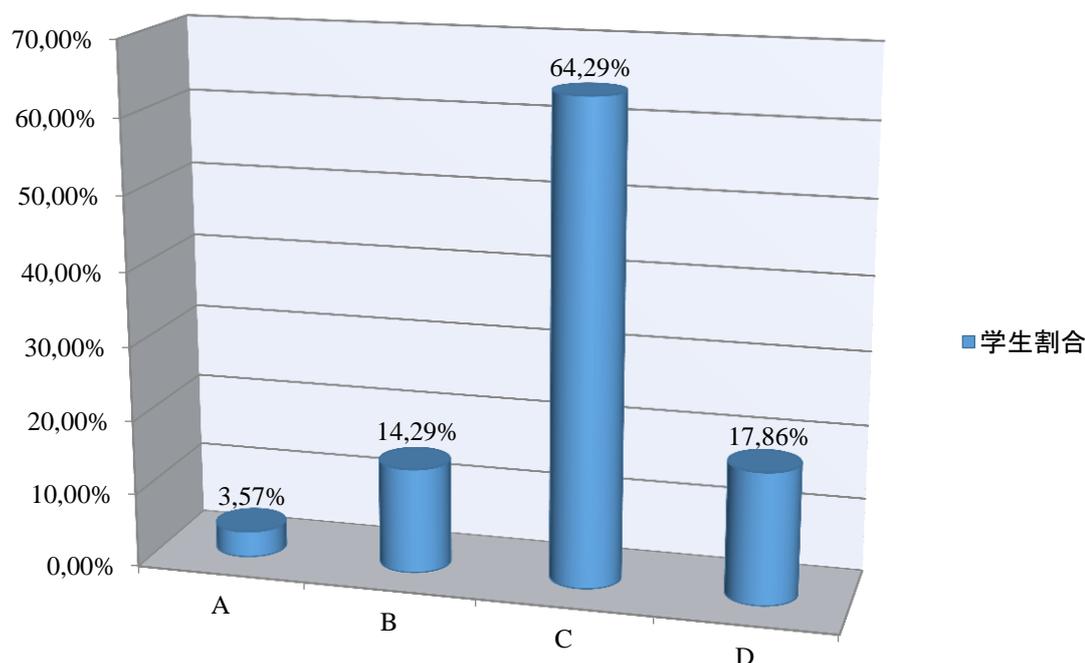
- A. いいえ、なくてもいい。
- B. はい、重要。
- C. はい、とても重要。

チャート 4 は、学生が助詞の重要性についてどう思うか示している。

チャートから、多数の学生が日本語において助詞が重要だと思っている（75%）。そして、助詞がとても重要な役割を果たしていると考えている学生が 12.5% 占めている。ほとんどの学生が助詞の重要性が分かるということだ。しかし、約 14% の学生がまだ理解していない。

問 4. 助詞はどんなに難しいと思うか。

チャート 5：助詞の難しさについて



A. 難しくない。

B. 少し難しい。

C. かなり難しい。

D. とても難しい。

チャート 5 は、学生は助詞がどんなに難しいと思うか示している。

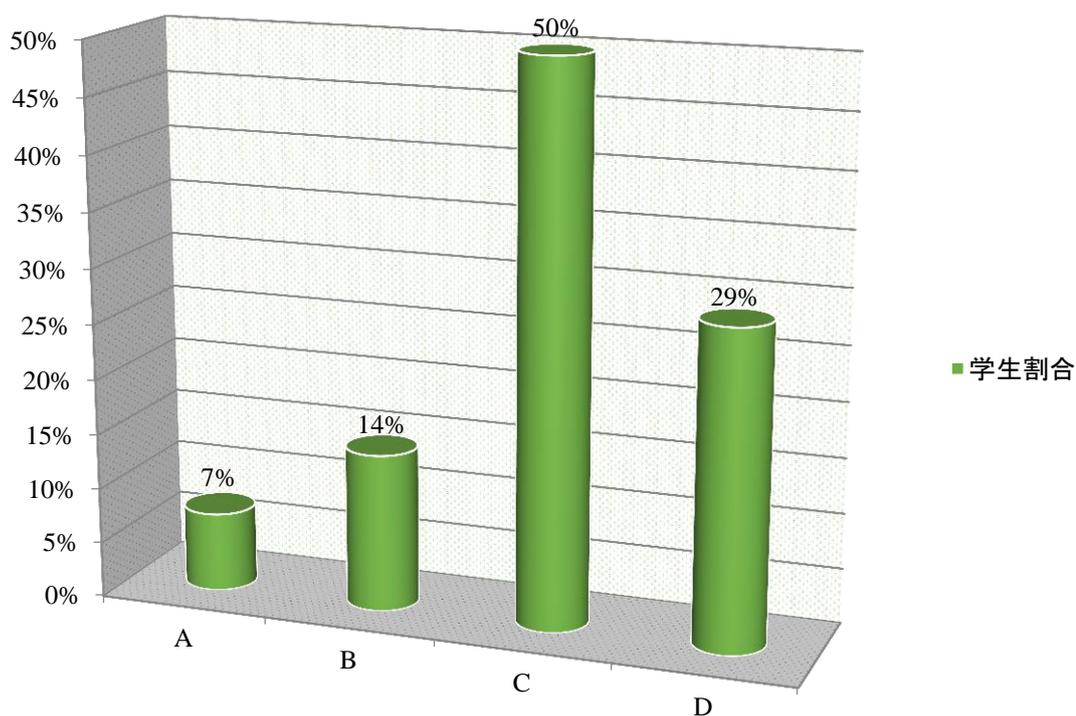
チャートから、約 64% の学生は日本語において助詞はかなり難しい問題だと考えていると見える。そのグループが一番多い。二番目はとても難しいと思う人（約 18%）。14% ぐらいが少し難しいと答えた。質

問したら、本当はほとんどの学生が助詞を学ぶときに困難にあってい  
ると言った。

3%が難しくないと答えた。

問 5. 助詞についてもっと理解できるようになりたいか。

チャート 6：助詞学習に対する興味



A. いいえ、全然興味がない。

B. 少し興味がある。

C. はい、興味がある。  
る。

D. はい、とても興味があ  
る。

チャート 6 は学生達は助詞学習に対してどんなに興味を持っている  
かどうか示している。

チャートから、約 80%が助詞についてもっと理解できるようになり  
たいと分かる。そのグループの学生は助詞に関する効果的な学習方法

や役立つ参考書が手に入りたいということだ。助詞を学習したい気が強いと言える。

14%が少し興味があるという答えである。そのグループの学生はあまり情熱ではない。または、7%が全然興味を持っていない。

## セクション2： 助詞学習の方法に関する提案

問 6. 以下は助詞学習を改善するための意見である。それぞれにどのくらい賛成するか、0点～3点で評価してもらった。表5に点数によって、優先順に並べている。

表5：助詞学習を改善するため

	提案	点数／84
1.	それぞれ助詞の使い方を覚えておく。	72
2.	使い方が間違いやすい助詞をどこが違うか、使い分ける。	71
3.	助詞を学習するたび、自分で例を作る。	70
4.	作文を書いて、先生に見てもらう。	67
5.	助詞を見て、分からなかったらすぐ調べてメモしておく。	66
6.	練習問題をしたら、誤りのところをもう一度やる。	65
7.	読書するとき、筆者の助詞の使い方に注意する。	65
8.	たくさん練習問題をする。	59
9.	それぞれの助詞を使った例文を覚えておく。	57
10.	四つの助詞種類によって、分けて、使い方を覚える。	55
11.	他の意見： — 同時に、上記の提案を利用する。 — 分からないとき、先輩や友達と相談する。 — 助詞について説明する本を買う。	

### 3.3. 結果と討論

テスト及びアンケートから、多数の学生が日本語の勉強に熱心で、真面目だが、小さな部分がまだ勉強に集中していない。それは驚かせない。彼らは初めから、日本文化や日本語にまったく興味を持っていないから。

しかし、一般的に日本語、特に助詞をもっと深く理解できるようになりたい学生が約 80% 占めている。それは良いことだ。

## IV】 提案

### 4.1. 提案

アンケートの結果から、助詞学習を改善するため提案を出す。アンケートの点数によって、次のように優先順に並べてある。

- 1) 助詞の使い方を覚えておく。
- 2) 使い方が間違いやすい助詞をどこが違うか、使い分る。
- 3) 助詞を学習するたび、自分で例文を作る。それぞれの助詞を使った例文を覚えておく。それから、自分で作文を書いて、先生に見てもらう。そして、たくさん練習問題をする。練習問題をしたら、誤りのところをもう一度やる。
- 4) 助詞を見て、分からなかったらすぐ調べてメモしたり、読書するとき、筆者の助詞の使い方に注意したりする。
- 5) 助詞の種類によって、分けて、使い方を覚える。

#### 4.1.1. 助詞の使い方を覚える

日本語の助詞は外国人の学者にとって多くて、難しいが、言葉の数に比べて大した問題ではない。それで、言葉のように、時間をとって、助詞をそれぞれがどのように使われているか、使い方がいくつあるか...覚えておけばいい。

ほかにはいろいろな助詞があるが、ここでは初級で学ぶ 9 つの助詞だけ例として、勉強し方を紹介する。

#### 「を」

---

##### 【対象】

例：水 を 飲む。

英語 を 勉強する。

##### 【移動】

例：公園 を さんぽする。

道 を 渡る。

### 【起点】

例：喫茶店 を 出る。

飛行機が空港 を 出発した。

## 「で」

---

### 【動作が行われる場所】

例：大学 で 勉強する。

喫茶店 で 友達に会った。

=> 勉強する場所は大学、友達に会った場所は喫茶店という意味だ。

### 【手段】

例：速達 で 送る。

ボールペン で 書く。

バス で 帰る。

=> 「何で送るか → 速達で送る ・ 何で書くか → ボールで書く ・ どうやって帰るか → バスで帰る」という意味だ。

### 【原因・理由】

例：地震 で ビルが倒れてしまった。

どうして遅刻したのか …台風 で 電車が止まったのだ。

### 【材料】

例： この本棚は木 で 作られた。

=> 「本棚を作るとき、木を使った」という意味だ。

## 「と」

---

### 【共同行為者】

例： 好きな人 と 結婚したい。

家族 と 旅行した。

### 【比較】

例： ハイフォン と ハノイ と どちらが人が多い。

A 私の靴は姉の靴 と 同じだ。=> 私の靴 = 姉の靴

B 私の靴は姉の靴 と ちがう。=> 私の靴 ≠ 姉の靴

### 【引用】

例： 社長は明日出張する と 言っていた。

私はよくない と 思う。

## 「に」

---

### 【存在】

例： 会議室 に いる。

猫は庭 に いる。

へや に テレビがない。

### 【動作の向かう先】

例：妹 に 話す。

母 に あげた。

クラス に 伝えた。

### 【目的】

例：日本へ経済の勉強 に 来た。

買い物 に 行く。

### 【用途】

例：このはさみは花を切るの に 使う。

このかばんは旅行 に 便利だ。

### 【変化】

例：英語が上手 に なった。

明日は雨 に なる。

「英語が下手 → 上手 ・ 今は晴れ → 明日は雨」という意味だ。

例：【時】

6時 に 起きる。

4月 に 日本に来た。。

### 【行為・物の与え手】

例：先生 に 本をもらった。

弟 に コンピューターを壊された。

## 「が」

---

### 【主体】

例： 雨 が 降っています。

### 【対象】

例： ダンス が 好きだ。

タバコ が 嫌いだ。

## 「へ」

---

### 【方向】

例： 国 へ 帰る。

日本 へ 行った。

### 【動作の対象】

例： 会社 へ 電話する。

この「へ」は「に」と同じ使い方である。

## 「から」

---

### 【起点】

例： 駅 から 歩いて帰った。

8時半 から 働く。

友達 から 聞いた。 = に 聞いた。

先生 から もらった。 = に もらった。

先生 から 習った。 (=に 習った)

「聞く ・ もらう ・ 習う」などは「から」も「に」もいい。

### 【原料】

例： ビールは小麦 から つくられている。

お酒は米 から つくられている。

## 「まで」

---

### 【範囲の終了地点】

例： 大学 まで 歩いて行く。

5時半 まで 働いた。

## 「より」

---

### 【比較の基準】

よく「X より Y のほうが～です」を使うが、これはいろいろな形があるから、少しむずかしい。

例： ハノイはハイフォン より 人が多い。

=> ハノイ > ハイフォン

ハノイ より ハイフォンのほうが住みやすい。

=> ハイフォン > ハノイ

#### 4.1.2. 使い方が間違い助詞を使い分ける。

使い方が分かっていても、使い方が近い助詞を間違えることもある。それで、それぞれがどこが違うか、交換可能であるかどうか理解する必要がある。

ここでは初級で学ぶ 5 つだけ紹介する。ほかにもいろいろな助詞があるが、下記は HPU 学生がよく犯した誤りである。

「と」

「に」

例：「彼 と 会う」

「彼 に 会う」

どちらもいい日本語である。「と」はいっしょにするという意味を表す。

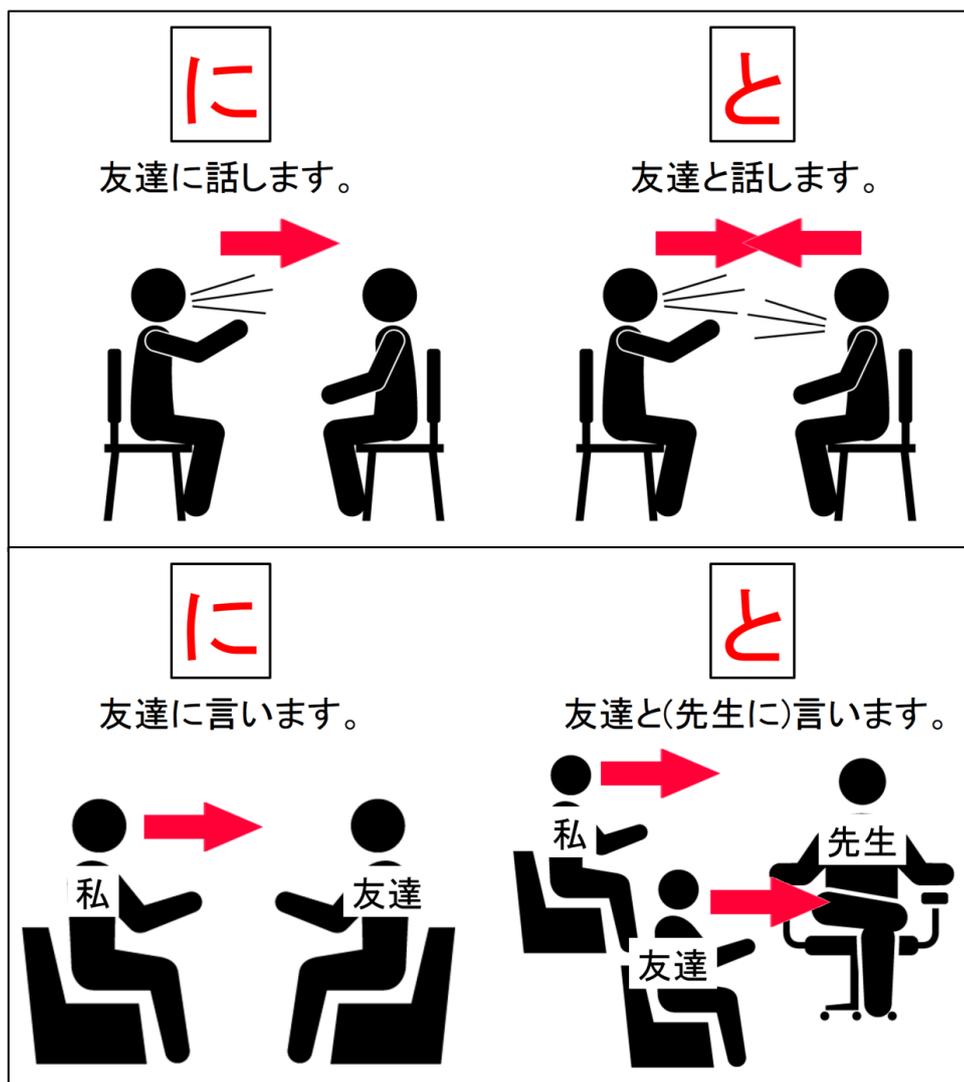
「彼と会います」は約束してから会う。

「彼に会います」は約束しないで会う。

例：「友達 と 話す」

「友達 に 話す」

下のイラストを見てください。



時「に」

時「に」

「4月5日行きます」か「4月5日に行きます」また、「明日行きます」か「明日に行きます」はよく学生が迷っている。

1・2・3・4など、番号があるときは、「に」が必要である。番号がないときは、「に」が要らない。

	<p>1・2・3・4</p> <p>11・12・13・14</p>	
---	-----------------------------------	---

5月19日 <u>に</u>	おととい・昨日・今日・明日・
8時15分 <u>に</u>	あさって・毎日・今朝・毎朝・
2019年 <u>に</u>	毎晩・今晚・晩・夜・先週・
去年の3月 <u>に</u>	今週・来週・去年・今年・来 年・毎年
	...

「へ」

「に」

例：「家へ帰ります」

「家に帰ります」

=> どちらもいい。

『みんなの日本語』の五課では、「家へ帰ります」はいいと教えるが、日本人は「家に帰ります」をよく使う。

〈旅行〉〈カラオケ〉〈お祭り〉などは「に」を使ったほうがいい。〈学校〉〈新宿〉〈公園〉などは「へ」を使ったほうがいい。

「で」

「に」

「教室にいます」と「教室でいます」は学生がよく間違える。

「ばしょ に 何か・誰か いる／ある」

=> 存在という意味を示す。

「ばしょ で あそぶ／勉強する／食べる、など」

=> 動作が行われる場所という意味を示す。



大学では、「\_\_\_\_\_の ところに なにを いますか。かいてください。」という問題をよく出す。このような問題は上の問題より難しいと言われている。助詞を深く理解しなければ、大変だ。

例：

1. こうえん\_\_\_\_\_さんぽする。
2. へや\_\_\_\_\_いる。
3. へや\_\_\_\_\_ねる。
4. でんわ\_\_\_\_\_はなす。
5. かぞく\_\_\_\_\_はなす。

上記の 3 つの学習方法のほかに、色々な方法がある。例えば、宿題をするとき、助詞を見て、分からなかったらすぐ調べてメモしたり、読書するとき、筆者の助詞の使い方に注意したりする。または、助詞の種類によって、分けて、使い方を覚える。

### 第3部： 結論

助詞は日本語の文法において重要な部分である。助詞が分からなければ、試験のときだけではなく、日本人と会話するときや、仕事するときにも大変だ。

残念ながら HPU の学生が助詞を習得する力が弱い。それで、もっと効果的な学習方法が必要である。

本研究では様々な資料やウェブサイトを参考して、助詞とはどういうものであるか、どのように分類されているか分かりやすくまとめた。それから、教科書として利用されている『みんなの日本語』初級 I 本冊及び初級 II 本冊に出た助詞をまとめて、分析した。そして、初級助詞学習の現状を調べるために、テスト及びアンケートを実施して、データを分析した。そこから、助詞学習を改善するための提案を出した。

HPU の学生を助けるためにかなりの努力がなされた。しかし、時間制限及び限られた能力のために、本研究で解決できない多くの問題がある。まず、研究の対象は、HPU の一年生及び二年生だけである。それから、助詞についてまだ深く研究していない。初級助詞だけ集中する。中級、高級の助詞は言及しない。さらに、一般的な日本語の教育および学習において、上記で提案された技術はごく一部であり、個人が自習するのに適用する。

この卒業論文では、時間、知識及び他の多くの要因の制限のために、『みんなの日本語』初級で学ぶ助詞に限られた。各助詞についてもっと詳しく分かるように、知識を広げたいと思う。そして、中級、高級の助詞にも興味を持っている。または、初級の助詞だけではなく、中級、高級を学習する方法も高いレベルの学習者から学びたいと思う。

上記の制限があるが、このトピックに関する今後の研究にもっと多くの学生が含まれ、学生がよりよく日本語の助詞を学ぶのを助けるために、他の日本語の分野まで及ぶかもしれないと思う。

## 参考文献

1. 金田一春彦（2003）『現代新国語辞典』，改訂第三版第 2 刷，pp. 1435-1436, 学研.
2. 林義雄, 林史典, 金子守 編（2002）『現代標準国語辞典』，初版第 4 刷，pp. 499, 学研.
3. 益岡隆志, 田窪行則（2013）『基礎日本語文法』，改訂版, pp. 49, くろしお出版.
4. スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語 初級 I 本冊』，株式会社スリーエーネットワーク.
5. スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語 初級 II 本冊』，株式会社スリーエーネットワーク.
6. 助詞の使い分け：<https://jn1et.com/beginners-howto-9-josi/#toc12>.
7. 山田文法：  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B1%B1%E7%94%B0%E6%96%87%E6%B3%95>.
8. 橋本文法：  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A9%8B%E6%9C%AC%E6%96%87%E6%B3%95>.

# 付録 1

## 助詞テスト

\_\_\_\_\_の ところに なにを いれますか。かいてください。

1. このかしゅはわかいじょせい\_\_\_\_\_にんきがあります。
2. ミラーさんはアメリカ人です。去年の3月にアメリカ\_\_\_\_\_来ま  
した。
3. 去年アメリカ\_\_\_\_\_行きました。
4. もうすこしおおきいこえ\_\_\_\_\_いっていただけませんか。
5. お酒は米\_\_\_\_\_つくられます。
6. そのネクタイ\_\_\_\_\_みせてください。
7. ここ\_\_\_\_\_座ってください。
8. このかさはわたし\_\_\_\_\_じゃありません。
9. せんしゅうのかようび、かいしゃ\_\_\_\_\_やすみました。
10. あ、すみません。ここ\_\_\_\_\_たばこをすわないでください。
11. ワープロ\_\_\_\_\_ともだちにてがみをかきます。
12. あの信号\_\_\_\_\_右へ曲がってください。
13. 先生\_\_\_\_\_きいてください。
14. 日本へ経済\_\_\_\_\_勉強に来ました。
15. いもうと\_\_\_\_\_よこはまへいきました。
16. サッカーとやきゅう\_\_\_\_\_どちらがおもしろいですか。
17. ここ\_\_\_\_\_入らないで下さい。
18. くすりを飲んでげんき\_\_\_\_\_なりました。
19. あした\_\_\_\_\_レポートを出してください。
20. 昨日、びょうき\_\_\_\_\_、大学を休みました。

## 助詞テストの回答

1. このかしゆはわかいじょせいににんきがあります。
2. ミラーさんはアメリカ人です。去年の3月にアメリカから来ました。
3. 去年アメリカへ行きました。
4. もうすこしおおきいこえでいっていただけませんか。
5. お酒は米からつくられます。
6. そのネクタイをみせてください。
7. ここに座ってください。
8. このかさはわたしのじゃありません。
9. せんしゅうのかようび、かいしゃをやすみました。
10. あ、すみません。ここでたばこをすわないでください。
11. ワークプロでともだちにてがみをかきます。
12. あの信号を右へ曲がってください。
13. 先生にきいてください。
14. 日本へ経済の勉強に来ました。
15. いもうととよこはまへいきました。
16. サッカーとやきゅうとどちらがおもしろいですか。
17. ここに入らないで下さい。
18. くすりを飲んでげんきになりました。
19. あしたまでにレポートを出してください。
20. 昨日、びょうきで、大学を休みました。

## 付録 2

### 調査アンケート

1. 日本語の勉強を始めたのはなぜですか。

- A. 就職のためです。
- B. (日本語 ・ 日本文化 ・ 日本料理...) 好きですから。
- C. 日本に行きたいですから。
- D. 他の意見 : \_\_\_\_\_

2. どのレベルまで勉強するつもりですか。

- A. N5    B. N4    C. N3    D. N2    E. N1

3. 日本語では助詞が重要だと思いますか。

- A. いいえ、なくてもいいです。
- B. はい、重要です。
- C. はい、とても重要です。

4. 助詞はどんなに難しいと思いますか。

- A. 難しくありません。
- B. 少し難しいです。
- C. かなり難しいです。
- D. とても難しいです。

5. 助詞についてもっと理解できるようになりたいですか。

A. いいえ、全然興味がありません。 B. 少しだけ興味があります。

C. はい、興味があります。 D. はい、とても興味があります。

6. 以下は助詞学習を改善するための意見です。それぞれにどのくらい賛成するか、0点から3点まで評価してください。

表5：助詞学習を改善するため

	提案	点数
1.	それぞれの助詞を使った例文を覚えておきます。	
2.	それぞれ助詞の使い方を覚えておきます。	
3.	たくさん練習問題をします。	
4.	練習問題をしたら、誤りのところをもう一度やります。	
5.	助詞を学習するたび、自分で例を作ります。	
6.	助詞の種類によって、分けて、使い方を覚えます	
7.	使い方が同じような助詞をどこが違うか、使い分けま す。	
8.	助詞を見て、分からなかったらすぐ調べてメモしておき ます。	
9.	読書するとき、筆者の助詞の使い方に注意します。	
10.	作文を書いて、先生に見てもらいます。	

他の意見があったら、ご記入ください。

---